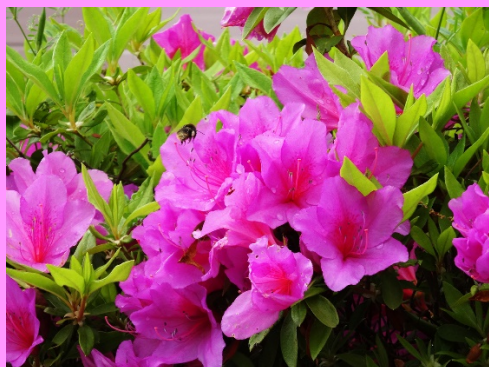


きょうの米原高校(5月20日)

朝は少し肌寒さを感じるくらいでしたが、過ごしやすい気候ですね。窓を開けているとたくさんの鳥の声が校内に響いています。今日は2年生、3年生の登校日です。



学校の入り口付近にあるスモークピンクの外壁の建物、あさかせ会館の植え込みのツツジ(オオムラサキ)が満開を迎えています。



可愛いピンクの花が咲き誇っているのを見ると、春が終わり、夏が始まっているのだと、改めて感じますね。



ツツジの花の中では、クロマルハナバチ(?)コマルハナバチ(?)が、一生懸命働いていました。羽音は大きいけれど、温厚で可愛い蜂です。

マルハナバチなどの花粉や蜜を採って暮らしている虫は、花粉を運び、植物の繁殖を手助けしています。みなさんが食べる果物や野菜の実りには虫の活動が欠かせません。

マルハナバチもミツバチも、スズメバチのように刺すハチの仲間です。ただ、よほどのことがなければハチの方から攻撃してくることはありませんので、花に訪れているところなどはゆっくり観察できます。米原の自然を支える可愛い働き者ですね。

Teamsの方でも学年の先生が連絡してくれていますが、何名か健康観察メールを忘れている人が居るようです。朝、起床したら、すぐに体温を測定し表に記載して、学年のメールアドレスに送信するというのを習慣づけてください。「元気かな?」と学年の先生方が心配されておられますよ。

